

S. I. 2018年卒 地域福祉コース

こんな学生時代を過ごしました

地域創生学群では、地域福祉コースに所属し、多様な価値観や人との関わりを深く学んだ学生生活を送りました。入学して間もない1年次の頃から、医療センターや特別支援学校でのスクールボランティア実習に取り組みました。他にも、特別養護老人ホームや、就労継続支援B型の事業所での実習も行いました。また、自閉症児およびその家族を対象とした療育キャンプの運営にも携わり、事前の準備やキャンプでの宿泊を通して、学びを深めることもできました。3年次には、社会福祉士国家試験の受験資格を得るために、医療機関で相談援助実習も行いました。

ゼミでは、社会人の学生の方とも一緒だったため、人生の先輩として相談できる環境であったのも良かったです。

また、実習以外にも、就労継続支援B型でのボランティア活動を行い、このボランティアがきっかけに、同じ社会福祉法人が運営する放課後等デイサービスでアルバイトとして働くようになりました。ここでは特別支援学校や学級に通う小学生から高校生までの子どもたちと、楽しく時には関わり方に悩みながら過ごしました。

在学中には短期で語学留学にも挑戦しました。英語は得意ではありませんでしたが、実習を通して身につけた非言語的コミュニケーションの重要性を海外でも痛感し、福祉コースでの学びが異文化の環境でも役に立つことを実感しました。

4年間の在学中に、様々な分野で、幅広い年代を対象とした実習やボランティアを行えたことは、地域創生学群ならではの体制だったからなのではないかと感じています。

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

現在は日本赤十字社で働いています。

日本赤十字社福岡県支部には、支部事業、医療事業、血液事業、社会福祉事業、看護師等養成事業があり、私は入社時から現在まで医療事業として福岡県内の赤十字病院に勤めています。

病院の中には、総務課、人事課、会計課、購入管理課、事業推進課、医療連携課、医事課、健診課、他にも様々な部署があります。人事異動により業務内容が全く異なる異動もあるため、常に学び続ける環境であると感じます。他の部署での経験を積み、病院全体の理解を深めた職員として成長したいと考えています。

また、赤十字は災害時の救護活動も行っています。病院職員として働きながらも救護班要員として知識・技術を習得する機会もあり、今後も災害対応能力の向上に努めていきたいです。

現役生へのメッセージ

地域創生学群を卒業して何年もたちますが、一緒に学んできた同級生たちはすごかったなあと思うこともあります。熱意のある目標を持った人たちに囲まれて学生生活を過ごすことができました。

きっといまの地創にも、すごい人たちがたくさんいるはずですよ。コースや実習が違っても、あまり関わりを持っていない人もいるかもしれませんが、同じ地創生として、たくさん関わりを持ってください！

そして、実習を行いながら学べる環境に感謝を忘れないでほしいです。

(2025年11月28日執筆)